

令和元年度第2回樫原市子ども・子育て会議 会議録

日時：令和元年9月30日（月） 午後2時～午後3時20分

場所：樫原市保健福祉センター 北館4階 視聴覚研修室

【出席委員】天根委員・伊瀬委員・上田委員・桐山委員・小西委員・米田（幸）委員・竹本委員
・辻之内委員・藤田委員・吉川委員

【事務局】岡崎副市長・吉本教育長・加護健康部副部長・吉田健康部部長・藤井教育委員会事務局局長・北野教育委員会事務局副局長・辻本教育総務課課長・戸田学校教育課課長
・川田健康増進課課長・池田子育て支援課課長・竹本健康部こども官・井原健康部副部長・上島こども未来課長・中渡こども未来課指導主事・菊池こども未来課主事

【傍聴者】0人

1. 開会

2. 副市長あいさつ

3. 議事

（1）第2期樫原市子ども・子育て支援事業計画の基本的な考え方等の案について

（小西会長）

あいさつは省略させていただければと思います。今年度の会議は第2期計画の策定に向けた重要な会議となります。普段意見をいただかない方々も含めて、多くの方々から様々なご意見をいただければと思っておりますのでよろしくお願いします。それでは、議事の（1）第2期樫原市子ども・子育て支援事業計画の基本的な考え方等の案について事務局から説明をお願いします。

事務局 資料1、資料2について説明

（小西会長）

いま、資料に基づいた説明が事務局からありましたが、何かご質問・ご意見はございませんか。今日は幅広く意見をいただければと思いますので、感じたことなどを発言していただければと思います。どうぞよろしくお願いします。

【意見、特になし】

（小西会長）

ご意見・ご質問はないようですので、こちらの議事の内容は認めていただいたということ
でよろしいでしょうか。

【承認】

(小西会長)

では、議事の(2) 具体的な各施策の展開の案について事務局から説明をお願いします。

(2) 具体的な各施策の展開の案について

事務局 資料3について説明

(小西会長)

ありがとうございます。事務局から具体的な各施策の展開の案について説明がありましたが、ご意見・ご質問はございませんか。

(桐山委員)

新G「妊娠や新しい命に関する知識の普及啓発」について質問があります。リーフレットを成人式よりも早い段階でも配っていただけたらよいのではないかと思います。詳しい説明をいただければと思います。

(事務局)

命の大切さや女性の体に関することなどについて当初は成人式だけで資料を配付していました。しかし、20歳になる前に妊娠届が提出される場合も増加してきています。そのような中で、中学校1年生・2年生にも妊娠や自分の体の大切さなどを伝えるパンフレットを配布しています。また、学校教育課とも協力して創意工夫を進めています。

(小西会長)

いまの説明でよろしいですか。

(桐山委員)

ありがとうございます。早い段階から配布する方がよいと思っていましたので、中学校1年生・2年生にも配っていただいているというのは大賛成です。

(小西会長)

他に何かございませんか。

(天根委員)

まず、国の指示である「質の高い」という部分についてですが、指導主事を配置して継続的に予算を配分するというような書き方になっているのかと思いますが、具体的な問題とし

て「質の高い」というのはただ指導主事を置けばいいというものではないかと思います。どのような取り組みをしていくのか、内部で検討していく必要があるのではないのでしょうか。

国際化についても難しいですが、海外へ出て行く子どもについては様々な文化に対応できるようにするという発想でよいと思いますが、日本に定住する外国人については日本文化を中心に考えていく方がよいのではないかと思います。ですから、宗教上の慣習等に対する配慮などについても全て合わせるというのが必ずしも良い訳ではないのではないのでしょうか。

「適切な支援を」という表現はきれいですが、適切とはどのようなことかということを、こちらでも内部で議論しておくべきだと思います。

(小西会長)

ありがとうございます。その他にございませんか。ないようでしたら、第4章の1で設定した3つの基本目標に基づき、各担当課で実施する具体的な事業について説明があれば、お願いしたいのですが。

【説明、特になし】

(小西会長)

それでは、新規項目として公立幼稚園・保育所の適切な配置や外国につながる幼児への支援・配慮などについて追加の説明はありませんか。

(事務局)

質の低下、質の向上に関連してですが、幼児教育の無償化によって利用希望者が増加するのではないかと考えています。一方で、保育士のなり手を見つけることが難しいという状況がある中で多くの子どもを預かることが考えられること、また認可外保育施設を利用する人も増加する可能性も出てくる部分が「質の向上・安全の確保」というところになってくると思います。外へ出す文章としてはこれでよいが、「質の向上・安全の確保」のために市として具体的にどのようなことができるのか、というご意見をいただきましたので、その点については部を中心として内部でしっかりと検討していきたいと思っています。

「外国につながる幼児への支援・配慮」については、日本文化を外国人に知ってもらおうという視点も海外の文化を理解する視点も重要です。「適切に」ということの具体的な内容が何なのかということについては、連携して取り組んでいる学校教育課と協議しながら具体的な内容を詰めていきたいと考えています。

(小西会長)

保育士が不足していることについては、兵庫県の会議でもとりあげられており、1人でも多くの保育士を養成できるよう学費の援助を行っています。県も保育士の確保に注力しているところをお伝えしておきたいと思っています。

(伊瀬委員)

質の向上に関連してですが、保育士や幼稚園教諭も含め職員には研修を受ける権利がありますが、保育士の場合はなかなかチャンスがありません。奈良県が今年からキャリアアップ研修を始めていますが、保育協議会・保育士部会と奈良県で連携して橿原市内の保育士を特に対象とし、キャリアアップ研修の受講を進める取り組みを来年度には実施していきたいと考えています。今後、こども未来課と保育協議会・保育士部会とで相談していきたいと思います。

(小西会長)

保育協議会・保育士部会も注力していることをご理解願いたいと思います。新規項目として、公立幼稚園・保育所の適正配置や外国につながる幼児への支援・配慮などが追加されていますが、これらについてはいかがでしょうか。また、母子保健に関する施策・事業の評価についてもご意見等がございましたらお願いします。

【意見、特になし】

(小西会長)

ないようでしたら、この案でよろしいですか。

【承認】

(小西会長)

それでは、次の議事(3)量の見込みに対応する「確保方策」の案について事務局から説明をお願いします。

(3) 量の見込みに対応する「確保方策」の案について

事務局 資料4-1、資料4-2について説明

(小西会長)

ありがとうございます。事務局から量の見込みに対応する確保方策について説明がありましたが、この件についてご意見・ご質問はございませんか。子どもに関連する問題や事件が増えてきていますが、ご意見や参考になる取組みなどあれば発言いただければと思いますが、いかがでしょうか。

(天根委員)

資料についてというわけではありませんが、子ども・子育てというのは幅が広い分野ですが、根底には人権に根ざした子育てというものがあり、人権文化を考えるのがこの会議の役割ではないかと考えています。産まれた子をどのように育てていくかということが子育てであり、経済的な面の保障をするなどの政策を実施するだけで子育て支援になっているのかということを最近考えます。国の方針に沿って実施することも重要ですが、例えば市民日より

にコラムを載せてこの会議として発信していくというのも1つの方法だと思います。様々な問題について行政は対症療法で動きがちですが、子育てとは何かということについて考えていく必要があると思います。本当に問題なのは何かということについて研究者がもっと研究していく必要がありますし、解決について皆で考えていくことも重要ではないかと思います。議題の話ではないですが、感想を述べました。資料2の4ページの空白部分を埋めていく上でのヒントについてお話しいただければと思います。

(小西会長)

ありがとうございます。資料2の4ページの空白部分が次回に向けて気になる場所ですが、次回に向けての展望などございましたらお願いできればと思います。

(事務局)

資料2の4ページの空白部分については、資料3でお示ししている「第4章の3」の内容を体系図にまとめたものとなる予定です。第4章の3について本日ご審議いただき、確定してから、次回の令和元年度第3回子ども・子育て会議の中でお示ししていく予定です。

(小西会長)

ありがとうございます。事務局から施策の方向性について説明がありましたが、この件についてご意見があればお願いします。

(伊瀬委員)

私は保育園の代表ですが、社会福祉協議会の理事も兼ねております。社協の取り組みは高齢者に関するものが多く、子どもに関する取り組みが一切ないように思う中で、私が社協の理事を務める意味は何かという点に疑問を感じているところです。社協の役割は地域社会を支えていくことであり、基本目標の3として「みんなで子育てを見守り支え合う地域社会の再構築」があります。これこそ社協が本来取り組むべきことであり、高齢者も障害者も含めて一緒に考えていくべきであると思います。昨年度の理事会で伝えた話ではありますが、地域で子どもを支える社会の構築については、社協が一緒に取り組んでいくべき課題であると考えています。例えば幼稚園・保育園の最適な配置の検討という課題もありますが、社協と一緒に建物を使いながら高齢者のみならず、子育て家族が集う場作りができるのではないかと思います。核家族化が進んでいる中で、地域の子どもの見守りや地域の祭りなどに社協がもう一度取り組んでいくことが重要ではないかと思います。

(小西会長)

いまの意見も含めて、社協でも話をできればと思います。その他に何かございませんか。

(天根委員)

基本目標3の「みんなで子育てを見守り支え合う地域社会の再構築」についてですが、見守りという視点よりは、社会との連携を考えていくべき時代ではないかと思います。学習指導要領の改訂で学力の捉え方が変化し、皆と協力して取り組む、その人なりに何かができる

という観点で努力していくことが評価される時代になったと思います。また、社会に開かれた教育という点も重視されており、社会とどのように連携していくか、学校の取り組みが社会にどれくらい理解してもらえるかといった点を考えていく必要があります。学校教育などと総合的に連携しながら進めていくべきであると考えています。

(小西会長)

ありがとうございます。その他に何かございませんか。

(上田委員)

連合奈良で勤めている上田です。見込み量に対して確保の方策や十分な提供量を見込まれているので、待機児童も早期に解消されと考えられることはありがたい話であると思います。仕事をしながら安心して子育てをできると思います。奈良県は女性の就業率が最も低い都道府県の1つであると言われています。多くの女性が社会に出て行く中で、保育については今後のニーズ増加も見込まれるかとは思いますが。また、子どもを預けて働いている親にとっては子どもの就学後も、学童や放課後児童クラブの利用が必須となってきます。そのような中で、見えないニーズについても利用者アンケートを活用して反映いただけるということで安心しました。今後も働く人を助けていただける社会制度であってほしいと思います。

(小西会長)

ありがとうございます。子どもへの思いはいろいろあると思います。その中で子ども食堂も注目されており、私も人権ネットワーク委員として現場へ行きました。実際に行き、見てみることで協力体制ができるのではないかと思います。子どもに関することについてはまずは家庭からだと思います。厳しく難しいことも多い時代ではありますが、皆さんからの意見をいただき、進めていっていただきたいと思います。どうかよろしくお願いします。他に何かございませんか。

【意見、特になし】

(小西会長)

ないようですので、議事（４）その他について事務局から説明をお願いします。

(４) その他

事務局からは特になし

4. 次回の会議の日程・内容について

(事務局)

次回の日程について説明します。次第の下段にもありますように、第3回の会議は令和元年11月21日（木）14時からになります。場所は保健センター南館3階の講座室です。第3

回の会議実施後、12 月にパブリックコメントを実施し、市民から意見を広くいただきます。
第4回は2月6日（木）14時を予定しております。

次回もお忙しい中であるとは思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

5. 閉会

以上を持ちまして、令和元年度第2回子ども・子育て会議を終了させていただきます。本日は貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。

以上